

精華町長 杉浦 正省 様

精華町監査委員 井 上 直 樹

同 青 木 敏

## 令和 6 年度精華町公共下水道事業特別会計決算の審査意見について

地方公営企業法第 30 条第 2 項の規定により審査に付された令和 6 年度精華町公共下水道事業特別会計決算を審査したので、その結果について次のとおり意見を提出します。

### 第 1 審査の期間

令和 7 年 6 月 2 5 日から 8 月 1 4 日まで

### 第 2 審査の手続

町長から提出された決算諸表が、公共下水道事業の財政状態及び経営成績を適正に表示しているかどうかを検証するため、会計諸帳簿と関係証拠書類との照合やその他必要と認められる審査手続を実施した。また、公共下水道事業が常に効率的経済的運営を図りながら、町民の日常生活に密着する公営企業として円満な事業サービスの提供に努めているか等、その事業運営の適否と正確な経営成績内容の把握を主眼とし、関係職員から説明を聴取した。

### 第 3 審査の結果

- 1 審査に付された決算諸表は、前記により審査した限りにおいて、地方公営企業法その他関係法令に従って作成され、その計数は正確であり、財政状態及び経営成績を適正に表示しているものと認める。
- 2 予算の執行、経理事務及び財産の管理など財務に関する事務の執行は、地方公営企業法の経営の基本原則の趣旨に沿って適正に処理されているものと認める。

## 第4 補足意見

### 1 財政状態について

精華町公共下水道事業は、平成31年4月より地方公営企業法の適用を受ける事業に移行した。地方公営企業法適用後、2度目の公共下水道事業特別会計決算となった令和2年度において、一般会計繰入金のうち総務省通知による繰出基準に該当する繰入れは他会計負担金に、該当しない繰入れは他会計補助金に計上するなどの受入科目の整理を行っている。なお、令和3年度及び令和4年度において総務省通知による繰出基準に該当しない繰入れは行われていなかったが、前年度及び当年度において繰入れが行われ、当年度において他会計補助金が1,095千円計上されている。

当年度の損益計算書における経常利益は7,949千円（前年度17,207千円）であるが、営業外収益に一般会計からの繰入金である他会計負担金が375,749千円（前年度349,554千円）計上されている。現状では、公共下水道事業単独で収支が成り立つ状況ではない。

また、当年度末の貸借対照表において、現金預金が271,067千円（前年度182,963千円）計上されている。損益計算書の営業収益639,166千円（前年度630,655千円）に対し、約5.1月分の現金残高であるが、有形固定資産27,438,213千円（前年度28,040,013千円）の更新や維持管理も考慮すれば、財政状態が安定しているとは言えない。さらに、当年度末における企業債残高が7,991,704千円（前年度8,265,476千円）と多額であり、当年度においても636,673千円（前年度647,912千円）の償還を行っている。令和7年度においても、流動負債に計上された企業債残高640,093千円の返済が見込まれる。企業債の償還期限が令和34年度まで設定されており、今後も企業債の返済負担が長期に渡り続いていくこととなる。

当年度においても、令和元年10月に実施した下水道使用料改定による増収効果を得ているが、引き続き、厳しい財政状況を鑑み、経営状況の迅速で精緻な把握に努めるとともに、資金繰り状況を注視する必要がある。

## 第5 決算の概要

### 1 事業運営の概況

公共下水道事業の経営成績の基準となる各業務の実績は、以下のとおりである。

ア 年間総処理水量は、3,450,999 $\text{m}^3$ で、前年度の3,561,709 $\text{m}^3$ よりも110,710 $\text{m}^3$ （3.1%）の減少

イ 年間総有収水量は、3,770,541 $\text{m}^3$ で、前年度の3,757,026 $\text{m}^3$ よりも13,515 $\text{m}^3$ （0.4%）の増加

ウ 下水道使用料は、575,508千円で、前年度の571,586千円よりも3,922千円（0.7%）の増加

エ 年度末処理面積は、791.3ヘクタールで、前年度の786.9ヘクタールよりも4.4ヘクタール（0.6%）の増加

オ 年度末水洗化人口は、34,743人で、前年度の35,114人よりも371人（1.1%）の減少

公共下水道の供用開始面積は、既存地区及び開発地区合わせ前年度末現在786.9ヘクタールから当年度末現在で791.3ヘクタールに拡大したが、行政人口の減少等により、水洗化人口は、前年度末現在35,114人から当年度末現在34,743人に減少した。

下水道使用料は、年間総有収水量が増加したことにより、前年度571,586千円と比較して3,922千円（0.7%）増の575,508千円となっている。

## 2 予算執行状況について

### (1) 収益的収入及び支出について

収益的収入及び支出の状況は、次のとおりである。

#### ア 収益的収入（税込）

（単位：千円、％）

| 区 分       | 予算額       | 決算額       | 対予算額増減    | 収入率    |
|-----------|-----------|-----------|-----------|--------|
| 公共下水道事業収益 | 1,903,220 | 1,793,231 | △ 109,989 | 94.2   |
| 営業収益      | 703,339   | 696,815   | △ 6,524   | 99.1   |
| 営業外収益     | 1,199,781 | 1,095,168 | △ 104,613 | 91.3   |
| 特別利益      | 100       | 1,249     | 1,149     | 1248.9 |

収益的収入の決算額は、1,793,231千円で、予算額1,903,220千円に対し、109,989千円の減、収入率は94.2%となっている。予算額に対する営業収益の減は、雨水処理負担金の減等によるもの、営業外収益の減は、他会補助金の減等によるもので、特別利益の増は、過年度損益修正益の増によるものである。

#### イ 収益的支出（税込）

（単位：千円、％）

| 区 分       | 予算額       | 決算額       | 翌年度繰越額 | 不用額     | 執行率  |
|-----------|-----------|-----------|--------|---------|------|
| 公共下水道事業費用 | 1,903,220 | 1,769,902 | 0      | 133,318 | 93.0 |
| 営業費用      | 1,768,430 | 1,662,096 | 0      | 106,334 | 94.0 |
| 営業外費用     | 134,690   | 107,806   | 0      | 26,884  | 80.0 |
| 特別損失      | 100       | 0         | 0      | 100     | 0.0  |

収益的支出の決算額は、1,769,902千円で、予算額1,903,220千円に対し、133,318千円の減、執行率は93.0%となっている。予算額に対する営業費用の減は、負担金、人件費、委託料の減等によるもので、営業外費用の減は、消費税の減等によるものである。

## (2) 資本的収入及び支出について

資本的収入及び支出の状況は、次のとおりである。

### ア 資本的収入（税込）

（単位：千円、％）

| 区 分    | 予算額       | 決算額     | 対予算額増減    | 収入率  |
|--------|-----------|---------|-----------|------|
| 資本的収入  | 1,191,533 | 688,796 | △ 502,737 | 57.8 |
| 企業債    | 702,500   | 362,900 | △ 339,600 | 51.7 |
| 他会計負担金 | 205,208   | 205,025 | △ 183     | 99.9 |
| 他会計補助金 | 2,365     | 0       | △ 2,365   | 0.0  |
| 補助金    | 250,460   | 120,871 | △ 129,589 | 48.3 |
| 受託事業収入 | 31,000    | 0       | △ 31,000  | 0.0  |

資本的収入の決算額は、688,796千円で、予算額1,191,533千円に対し、502,737千円の減、収入率は57.8％となっている。

### イ 資本的支出（税込）

（単位：千円、％）

| 区 分    | 予算額       | 決算額       | 翌年度繰越額  | 不用額     | 執行率   |
|--------|-----------|-----------|---------|---------|-------|
| 資本的支出  | 1,540,948 | 1,044,750 | 235,000 | 261,198 | 67.8  |
| 建設改良費  | 904,275   | 408,077   | 235,000 | 261,198 | 45.1  |
| 企業債償還金 | 636,673   | 636,673   | 0       | 0       | 100.0 |

資本的支出の決算額は、1,044,750千円で、予算額1,540,948千円に対し、261,198千円の減、執行率は67.8％となっている。建設改良費において、翌年度繰越額が235,000千円生じているが、これは、精華11号污水幹線築造（その10）工事、精華第14処理分区整備（乾谷その11）工事、精華第14処理分区他整備工事、九百石川2号雨水路整備に伴う用地測量業務委託、大規模雨水処理施設整備事業申請業務委託、九百石川2号雨水路整備に伴うNTTの通信設備の移設補償に係る事業費である。建設改良事業としては、令和5年度流域関連公共下水道事業精華14-1号污水幹線築造（その8）工事等が実施された。

### ウ 収支の状況

収入決算額 688,796千円

支出決算額 1,044,750千円

であり、収支差引355,954千円の赤字となっているが、不足分は、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額35,338千円並びに当年度分損益勘定留保資金320,616千円で補てんされた。

### 3 経営成績等

#### (1) 収益的収支の状況について

損益の状況は、次のとおりである。

(単位：千円、％)

| 区 分   | 令和 6 年度   | 令和 5 年度   | 増 減      |       |
|-------|-----------|-----------|----------|-------|
|       |           |           | 金 額      | 率     |
| 営業収支  |           |           |          |       |
| 営業収益  | 639,166   | 630,655   | 8,510    | 1.3   |
| 営業費用  | 1,613,622 | 1,540,920 | 72,702   | 4.7   |
| 営業利益  | △ 974,456 | △ 910,265 | △ 64,191 | －     |
| 営業外収支 |           |           |          |       |
| 営業外収益 | 1,095,189 | 1,048,772 | 46,417   | 4.4   |
| 営業外費用 | 112,785   | 121,300   | △ 8,516  | △ 7.0 |
| 営業外利益 | 982,404   | 927,471   | 54,933   | 5.9   |
| 経常利益  | 7,949     | 17,207    | △ 9,258  | －     |
| 特別損益  | 1,142     | 0         | 1,142    | 皆増    |
| 特別利益  | 1,142     | 0         | 1,142    | 皆増    |
| 特別損失  | 0         | 0         | 0        | －     |
| 純利益   | 9,091     | 17,207    | △ 8,116  | －     |

営業損益は、974,456千円の損失で、前年度と比較して損失が64,191千円増加している。営業外損益は、982,404千円の利益で、前年度と比較して54,933千円（5.9％）増加している。この結果、経常利益は、7,949千円の黒字となった。特別損益は、1,142千円の利益であったことから、純利益は9,091千円で、前年度と比較して8,116千円減少している。

ア 収益について

収益の状況は、次のとおりである。

(単位：千円、％)

| 区 分       | 令和6年度     | 令和5年度     | 増 減    |         |
|-----------|-----------|-----------|--------|---------|
|           |           |           | 金 額    | 率       |
| 営 業 収 益   | 639,166   | 630,655   | 8,510  | 1.3     |
| 下水道使用料    | 575,508   | 571,586   | 3,922  | 0.7     |
| 雨水処理負担金   | 60,990    | 57,724    | 3,265  | 5.7     |
| その他営業収益   | 2,668     | 1,345     | 1,323  | 98.4    |
| 営 業 外 収 益 | 1,095,189 | 1,048,772 | 46,417 | 4.4     |
| 受取利息      | 213       | 4         | 209    | 5,613.6 |
| 他会計負担金    | 375,749   | 349,554   | 26,195 | 7.5     |
| 他会計補助金    | 1,095     | 751       | 344    | 45.8    |
| 国庫補助金     | 13,467    | 5,000     | 8,467  | 169.3   |
| 長期前受金戻入益  | 701,251   | 690,488   | 10,762 | 1.6     |
| 雑収益       | 328       | 87        | 241    | 278.8   |
| 引当金戻入益    | 3,086     | 2,888     | 198    | 6.9     |
| 特別利益      | 1,142     | 0         | 1,142  | 皆増      |
| 過年度損益修正益  | 1,142     | 0         | 1,142  | 皆増      |
| その他特別利益   | 0         | 0         | 0      | -       |
| 合 計       | 1,735,497 | 1,679,427 | 56,070 | 3.3     |

営業収益は、639,166千円で、前年度と比較して8,510千円（1.3％）増加している。これは、下水道使用料が3,922千円（0.7％）増加したことなどによるものである。

営業外収益は、1,095,189千円で、前年度と比較して46,417千円（4.4％）増加している。これは、減価償却費等の増加により、他会計負担金が26,195千円（7.5％）増加したこと、また、長期前受金戻入益が10,762千円（1.6％）増加したことなどによるものである。

特別利益は、1,142千円で、下水道使用料の遡及調定により、前年度と比較して皆増している。

以上の結果、総収益は、1,735,497千円で、前年度の1,679,427千円と比較して56,070千円（3.3％）の増加となっている。

## イ 費用について

費用の状況は、次のとおりである。

(単位：千円、％)

| 区 分       | 令和 6 年度   | 令和 5 年度   | 増 減      |        |
|-----------|-----------|-----------|----------|--------|
|           |           |           | 金 額      | 率      |
| 営 業 費 用   | 1,613,622 | 1,540,920 | 72,702   | 4.7    |
| 管渠費       | 419,997   | 380,430   | 39,566   | 10.4   |
| ポンプ場維持管理費 | 42,039    | 23,008    | 19,031   | 82.7   |
| 雨水路維持管理費  | 5,034     | 16,767    | △ 11,732 | △ 70.0 |
| 普及促進費     | 20        | 0         | 20       | 皆増     |
| 総係費       | 78,473    | 76,505    | 1,968    | 2.6    |
| 減価償却費     | 1,067,363 | 1,044,127 | 23,236   | 2.2    |
| 資産減耗費     | 695       | 82        | 613      | 747.0  |
| 営 業 外 費 用 | 112,785   | 121,300   | △ 8,516  | △ 7.0  |
| 支払利息      | 107,520   | 117,221   | △ 9,700  | △ 8.3  |
| 雑支出       | 5,265     | 4,080     | 1,185    | 29.0   |
| 特別損失      | 0         | 0         | 0        | —      |
| 過年度損益修正損  | 0         | 0         | 0        | —      |
| 合 計       | 1,726,406 | 1,662,221 | 64,186   | 3.9    |

営業費用は、1,613,622千円で、前年度と比較して72,702千円（4.7％）増加している。これは、委託料の減少により、雨水路維持管理費が11,732千円（70.0％）減少していることなどの一方で、委託料及び負担金の増加により、管渠費が39,566千円（10.4％）増加したこと、また、減価償却費が23,236千円（2.2％）増加したことなどによるものである。

営業外費用は、112,785千円で、前年度と比較して8,516千円（7.0％）減少している。これは、企業債利息の減少、一時借入金利息の皆減により、支払利息が9,700千円（8.3％）減少したことなどによるものである。

以上の結果、総費用は、1,726,406千円で、前年度の1,662,221千円と比較して64,186千円（3.9％）の増加となっている。

## (2) 純利益額等について

令和２年度以降の純利益額及び有収水量率は、それぞれ次表に示すとおりである。

### ◎ 純利益（損失）額 （単位：千円）

| 区 別<br>年度別 | 純利益（損失）額 | 利益剰余金    |
|------------|----------|----------|
| 令和２年度      | 122,601  | △ 29,791 |
| 令和３ 〃      | 65,445   | 35,654   |
| 令和４ 〃      | 11,786   | 47,441   |
| 令和５ 〃      | 17,207   | 64,647   |
| 令和６ 〃      | 9,091    | 73,738   |

### ◎ 有収水量率

| 区 別<br>年度別 | 年間総処理水量（m <sup>3</sup> ） | 年間総有収水量（m <sup>3</sup> ） | 有収率    |
|------------|--------------------------|--------------------------|--------|
| 令和２年度      | 3,600,521                | 3,845,948                | 106.8% |
| 令和３ 〃      | 3,663,149                | 3,806,750                | 103.9% |
| 令和４ 〃      | 3,479,849                | 3,774,553                | 108.5% |
| 令和５ 〃      | 3,561,709                | 3,757,026                | 105.5% |
| 令和６ 〃      | 3,450,999                | 3,770,541                | 109.3% |

## (3) 未収金について

年度末の未収金残高は82,839千円で、前年度末の93,777千円より10,938千円（11.7％）減少している。